

○ 簡易型における評価項目及び評価基準

1 施工計画

評価項目	評価基準	配点
1. 工程管理に係る技術的所見 2. 材料の品質管理に係る技術的所見 3. 施工上の課題に対する技術的所見 4. 施工上配慮すべき事項 5. 安全管理に留意すべき事項 (1) 工事内容から上記5項目の内1項目を設定するが、必要に応じて2項目まで設定できる。その場合それぞれの項目毎に評価基準に沿って評価する。 (2) 別記第2号様式を提出する。 (3) 工程管理は工程表を添付する。様式は自由。	現場条件を踏まえ適切であり、かつ工夫が見られる	10
	現場条件を踏まえており適切である	5
	不適切ではないが、一般的事項のみの記載である	0
	不適切である	失格

2 企業の施工能力

評価項目	評価基準	配点
1. 過去10年間の同種工事の施工実績 (1) 過去10年間とは、入札公告の日から遡って10年間とする。 (2) 同種工事を元請として施工した実績により評価する。 (3) 大網白里市以外の官公庁とは、国(各省庁)、独立行政法人等(公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施行令第1条に規定する機関及び準ずる機関)、都道府県、道路公社、まちづくり公社、土地開発公社、下水道公社、住宅供給公社、農業開発公社、政令指定都市及び市町村とする。 (4) 別記第3号様式を提出する。	大網白里市発注工事の実績あり	4
	大網白里市以外の官公庁発注工事の実績あり	2
	その他の実績	0
2. 大網白里市所掌工事における過去2ヶ年度間の「発注工種」での工事成績の平均点 (1) 過去の工事成績評定点の平均値(小数第2位以下切捨)により評価する。 (2) 過去2ヶ年度とは、入札公告の日の属する年度を除く、直近の2ヶ年度とする。	80点以上	6
	77.5点以上80点未満	5
	75点以上77.5点未満	4
	72.5点以上75点未満	3
	70点以上72.5点未満	2
	65点以上70点未満	0
	65点未満	-4
	成績なし	0
3. 過去2年間に大網白里市が行った指名停止等措置の有無 (1) 期間は、入札公告の日から遡って2年間とする。なお、文書による警告又は注意は文書施行日、指名停止は指名	指名停止	-4
	文書警告又は文書注意	-2

停止期間を対象とする。	なし	0
4. ISO認証取得 (1) ISO9001及びISO14001を対象とする。 (2) 登録証の写しを提出する。	あり	2
	なし	0
5. 大網白里市所掌工事「発注工種」における手持ち工事量の状況 (1) 手持ち工事量比率＝当該年度受注額÷過去2ヶ年度間の平均受注額	1.0未満	2
	1.0以上	0

3 配置予定技術者の能力

評価項目	評価基準	配点
1. 過去10年間の同種工事の施工経験 (1) 同種工事を元請の主任技術者、監理技術者、現場代理人として施工した経験により評価する。 (2) 別記第4号様式を提出する。	大網白里市発注工事で実績あり	4
	大網白里市以外の官公庁発注工事 で実績あり	2
	その他の実績	0
2. 主任技術者の保有する資格 (1) 適用業種により、「一級建築士」、「一級建築施工管理技師」、「一級管工事施工管理技師」、「一級電気工事施工管理技師」、「一級造園施工管理技師」、「一級建設機械施工技師」に適宜読み替える。 (2) 入札参加者の資格要件で、一級土木施工管理技士の配置を求めた場合は、評価項目から削除する。 (3) 別記第4号様式を提出する。	一級土木施工管理技士	2
	それ以外の土木施工に係る資格	0

4 地域貢献度等

評価項目	評価基準	配点
1. 大網白里市内で清掃活動等のボランティア活動に過去2年間に参加した実績 (1) 別記第5号様式を提出する。なお、ボランティア活動については会社として行っているボランティア活動を対象とする。 (2) 過去2年間とは、入札公告の日から遡って2年間とする。	活動実績あり	2
	活動実績なし	0
2. 大網白里市内に本店又は支店の所在地の有無 (1) 支店とは、建設業法に基づく許可を受けた支店等とする。 (2) 入札参加者の資格要件が、市内に本店又は支店等を有しているとした場合は、評価項目から削除する。	本店あり	2
	支店あり	1
	なし	0
3. 大網白里市と災害時における協力協定の締結の有無	あり	2

(1)大網白里市と災害時における協力協定を締結している者又は団体に加入している者を対象とする。	なし	0
合 計		36

加算点数は36点満点を30点(施工計画が2項目の場合は46点を40点)として換算し、小数第3位まで算出する。(第4位以下切捨て)